

公開コンテンツ・研究協議について

公開コンテンツⅠ： 小規模校でつなぐオンライン授業(教科:算数)



篠川小学校、嘉鉄小学校と、年に3回の集合学習で培った関係性を基に、複式の解消にもつながるオンライン授業に取り組んでいます。

授業論はさておき、隣接する小規模校同士が協働で行う学習の様子を実際に御参観ください。

今年で2年目の取組となります。

公開コンテンツⅡ： 総合的な学習の時間における探究活動



今後、子どもたちが学習を進めていく軸が「探究活動」となることを前提に、総合的な学習の時間で取り組んでいる様子を紹介します。

11月に中間発表を行い、今回は、最終発表という位置付けで実際に発表します。この分野については、ある程度の理論も必要だと思います。

是非、御質問や御意見を子どもたちにお届けください。

公開コンテンツⅢ： 小中併設校における特別活動



委員会活動として、小学2年生も校内放送を行います。その他にも旗揚げや給食献立掲示など全員体制です。

中学生が小学生を支えるのが日常です。同年代の集団を組織するマネジメント力には届きませんが、小学1年生に伝わるリーダーシップについて工夫して取り組んでいます。

研究協議： 各ブースに分かれて、質問、意見交換による研究協議

ブース	各ブースの内容
1	複式指導やオンライン学習などの学習指導
2	個別の探究的な学び(総合的な学習の時間)
3	地域や家庭と学校との関わり
4	小規模のよさを生かした学校経営
5	その他(各学校のお悩み相談や座談会)

素朴な疑問や、湧き出てきた意見、感想等を投げ掛けてください。
また、参加者同士が声を掛け合いながら、情報交換や実践交流なども行う時間としてください。

～本研究に対する本校の姿勢について～

複式の授業の在り方、総合的な学習の効果的な進め方、特別活動の充実などを研究してきたわけではなく、あくまでも、「へき地・小規模校」教育という総論的な研究公開として捉えて取り組んできました。もちろん、授業や総合的な学習の時間なども皆様のヒントになることがあれば幸いです。本校の思いは、小規模校だからこそ効果が生まれる教育があり、そこに、小規模校の存在意義があるということを皆様と共有したいということです。

たくさんの御意見や気付きをお寄せいただけるとありがたいです。